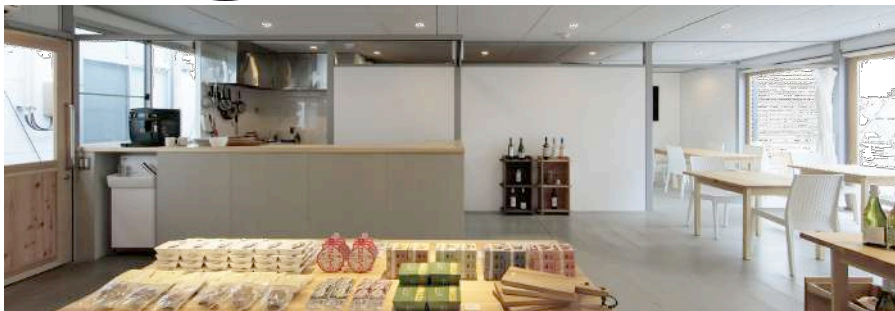
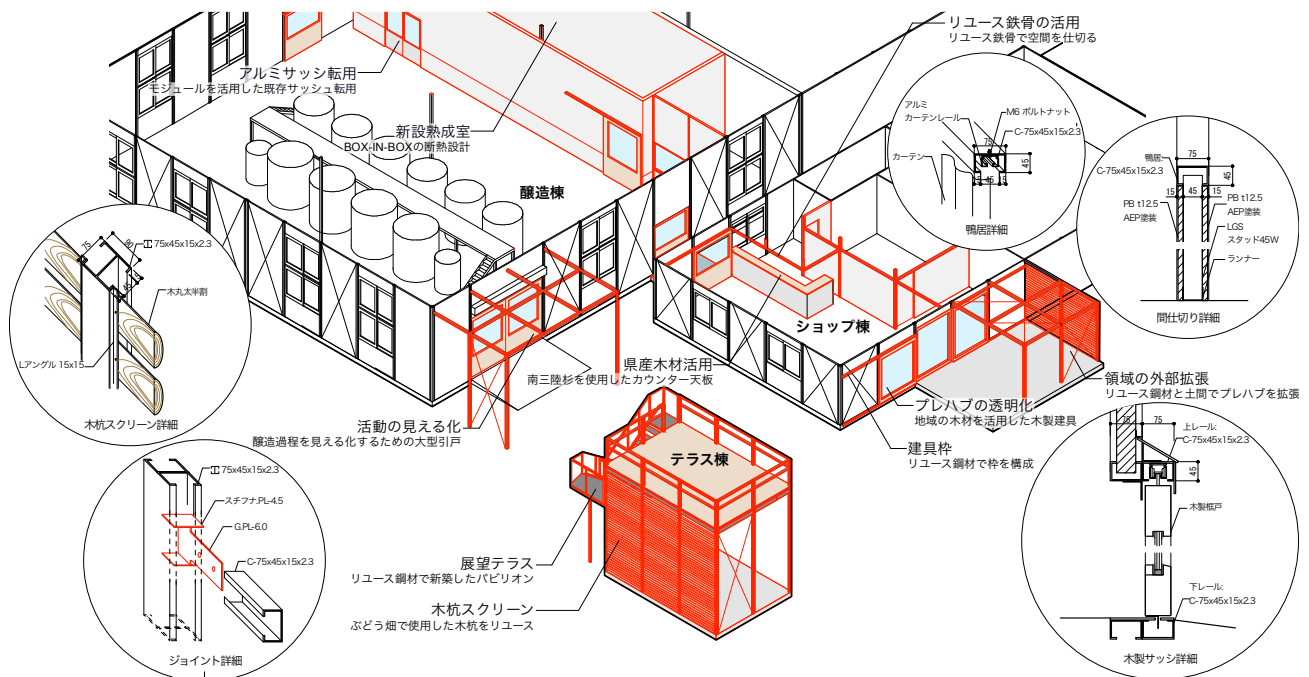


南三陸ワイナリー



震災で生まれた仮設プレハブ水産加工工場を、プレハブリユース鋼材と地域の素材でアッセンブル



非構造材で構成する間仕切りとカーテンフレーム



ショップ棟メインエントランス



外部に拡張されるテラス空間

東日本大震災で被災した南三陸町において、津波で流された水産加工工場がプレハブ建築として2012年に再建された。月日は流れ、2019年に復興の中でのその役割を終え、震災によって生じた新たな遺構のようなものとして残るかたちとなった。通常であればこのまま解体の道へと向かうが、震災後の地域産業を支えたこのプレハブ建築を、次の時代へ継承することを施主と共に考え、ワイナリーとしてコンバージョンすることを試みた。求められたのはローコストと地域資源の活用であり、これらを実現するにあたり、プレハブ建築をポジティブに評価することを試みた。そこで合理化を目指したモジュールに着目し、そこへ「アッセンブルする」という手法を考案した。この手法により、使い手や建築家の関わり代をほとんど見出すことのできないプレハブ建築を、使い方やニーズに合わせてカスタマイズしたり、周辺環境を踏まえた地域の特性と呼応するものへと導くことが可能となった。これが「工業化建築をひらく」という試みである。

- [建築名称] 南三陸ワイナリー
- [発注者] 南三陸ワイナリー株式会社
- [用途] 工場(ワイン醸造所)、ショップ
- [設計監理] 株式会社 irodori 一色 ヒロタカ
KATSU STUDIO 勝 邦義
- [構造設計] Graph Studio 福島 佳浩
- [設備設計] 株式会社前田設備設計事務所 前田 康太
上玉利電気設備設計 上玉利 直也
- [グラフィック] Grotesk 本間 亮
- [施工] 建築/有限会社山本セメント、ホソダアーキスタジオ 電気/有限会社イー・エム工業 衛生/株式会社小山設備 鉄骨工事/有限会社今野鉄鋼所 サイン/株式会社アベ美装、株式会社オオウチ工芸 家具/一般社団法人南三陸YES工房 資材提供/大和リース株式会社